



知って安心、介護とお金の話

「介護にかかるお金」は、経済的にも大きな問題です。その費用は、介護に必要な本人のお金を、充てることを基本に考えていきましょう。

長期化しがちな介護だからこそ、使える制度や自治体のサービス、費用や料金についても知識を深めておくことで備えになります。

① 介護費用、いくらかかるの？

民間の調査では、表1のような介護の期間や費用が報告されています。

介護が必要になった場合には、まず介護保険の申請をします。介護保険は、介護度（要支援1〜要介護5）により、1か月あたりの利用限度額が決まっております。また、福祉用具等のベッドや車いすは、レンタルすることで介護費用の節約になります。

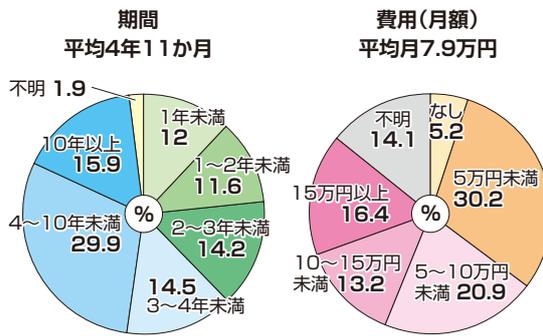
他にも介護保険外サービスとして、自治体や地域のボランティア、NPO、社会福祉協議会や民間事業者等の配食サービスや買い物送迎、個別宅配と様々なサービスが提供されています。うまく活用しながら在宅生活を支えていきましょう。

親族間でのトラブル回避には収支を記録したり、領収書を保存しておく

「介護家計簿」の作成をお勧めします。親の年金収入が低く、貯蓄もなく、子どもの援助が困難な場合には、生活保護の申請という方法もあります。

※介護保険の自己負担分を含む。住宅のバリアフリー化や介護ベッド購入等の一時費用は含まない。

表1 介護の実態



生命保険文化センター2015年度調査を基に作成

② 入院に備えて

突然の入院は、誰もが困惑します。入院時には「入院保証金」として5〜10万円程が必要になります。万が一に備えて、本人の通帳や印鑑、キャッシュカードの保管場所や暗証番号等を確認しておきましょう。

③ 施設費用は、資金計画が大事

在宅介護の先に、施設入居を選択肢として考えておくことは大切です。最近、高齢者向け施設の種類も多く、

入居条件、サービスの内容や目的、費用や料金に様々な違いがあります。

まずはその特徴を理解し、本人の思いに添える施設選びにしたいものです。施設費用には100歳まで生きることを想定し、無理のない資金計画を立て準備しましょう。

④ 介護離職しないために

働きながら介護を続けることは、とても大変なことです。しかし仕事を辞めたら、その後の生活や長い自身の人生設計や将来の年金額等、経済的にどうなるのかも考えてみましょう。

育児介護休業制度\*が改正され、2016（平成28）年8月には雇用保険から出る給付金が、休業前の賃金（収入）の40%から67%へ引き上げられました。また翌年1月より介護休業（通算93日）は3回まで分割取得ができ、サービスの契約や施設探しに充てることできるようになりました。

介護休業だけでなく、有給休暇介護休暇（半日単位で対象家族1人一年に付き5日/2人以上なら10日取得が可能）も上手に利用しながら、慎重に考え、仕事を辞めずに介護できる体制を築くことが大切です。

（川村）

コラム

制度を支える理念

福祉先進国スウェーデンの場合、スウェーデンは超高齢化社会を歩む福祉国家です。福祉は社会（国民一人ひとり）が支えるという理念で、児童、高齢者、障がい者、在住外国人、すべての人へ向けた福祉サービスがあります。

福祉税率は高いのですが、国民の満足度が高く、予算を支える上で女性は大きな労働力となっています。働きやすい環境と制度で、女性も生涯働くことができます。細やかで行き届いた福祉サービス実現のため、女性の視点や思考も活かされます。しかも女性の活躍により国の経済力が高まり、出生率が上昇、超高齢化の速度は鈍化しました。

財政は年々厳しく、効率的な民間活用も模索されましたが、直近2014年の選挙では、国民は高負担でも国が高福祉に責任を持つ道を選択しました。

（桑山）

\* 介護休業制度とは？

働く人々が家族を介護するために、一定の期間休業することができる制度。介護サービスの体制を整えたり、施設探しや契約等、仕事と介護を両立するための準備期間という位置づけ。